

信州共生未来アイデアコンテスト2020

幅広い世代の方々に参加してもらおう
高校生が立案したリアルな防災訓練

エントリーNO.35

長野県長野工業高等学校

チーム名 C、E

メンバー

林部龍雅

細川悠斗

外谷英慈

吉池良介

中村ゆずは

テーマ選定理由

- 子供から高齢者まで**幅広い世代**の方々に参加してもらいたい。
- リアルな訓練を行うことで、災害にあったことのない人や、災害を甘く考えている人たちに、**危機感**を感じてもらいたい。
- **地域の繋がり**を深めたい。

避難訓練の現状

避難訓練の参加率

- 国や地方公共団体では、毎年、地震や豪雨などを想定した防災訓練を行っていて今までに**防災訓練に参加したことがあるか**聞いたところ、
- 積極的に参加している・
• **7.8%**
- 参加したことがある・
• **38.1%**
- 参加したことがない・
• **61.9%**

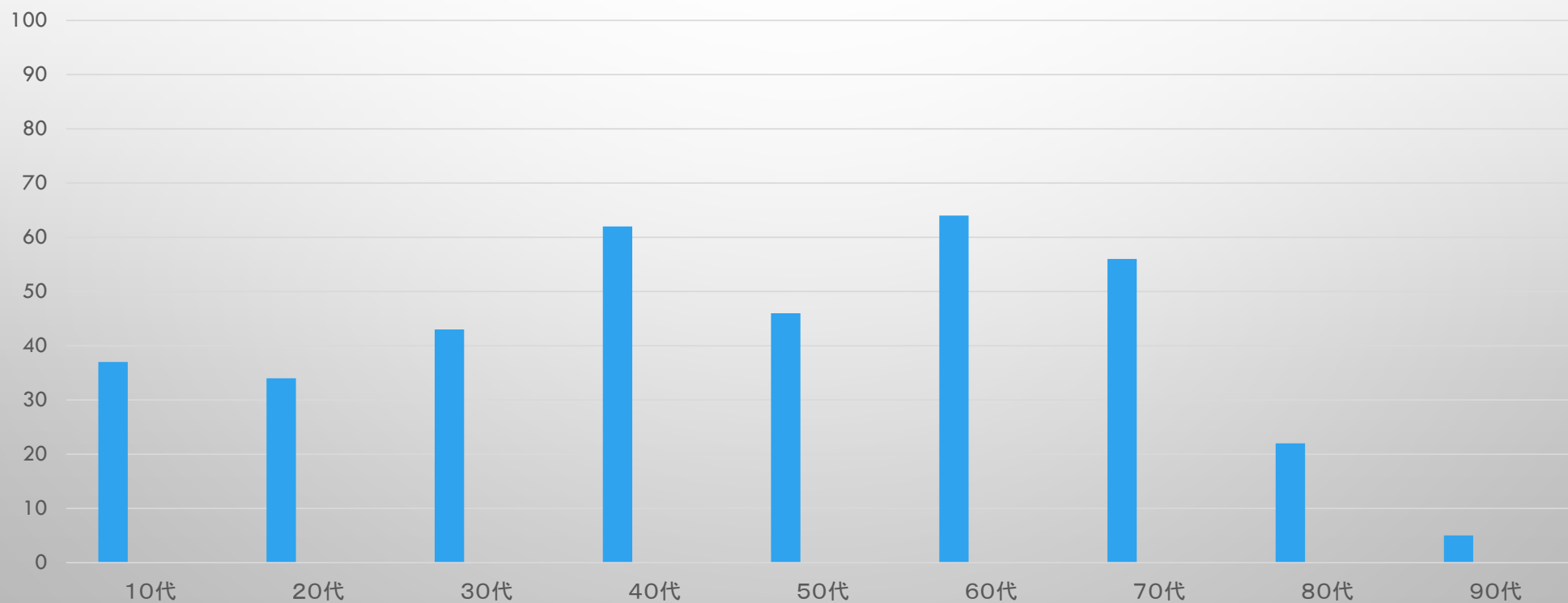
(内閣府 平成9年 世論調査)

避難訓練の参加率から

- このことから避難訓練に参加していない人の割合が高く、ほとんどが「参加したいと思わなかったから」という理由で参加していなく、**若者**（20代）の割合が高く、**高齢者**（70代）の人たちの割合も高いことが分かった。

地域で防災訓練を必要としている人

出典：神奈川県



グラフから、若い世代の訓練を必要としている人が、ほかの世代と比べて少ないことが分かる

課題解決のためのアイデア

防災トランプ

- 特定の防災訓練では「防災トランプ」というものを取り入れている
- 防災トランプとは通常のトランプルールに「防災」について話すルールを加えて遊ぶことができるトランプのこと。

- 防災トランプを実際に取り入れた防災訓練でのアンケート調査・
(2017年)

とても楽しかった	41.6%
楽しかった	56.9%
あまり楽しくなかった	0.2%
まったく楽しくなかった	0.1%
どちらでもない	1.2%

月刊「事業構造」より

防災トランプの結果

トランプの結果から参加者の少ない地域で防災トランプなどの遊び要素を少しでも取り入れることで若い人たちにも参加してもらえる可能性もあると思った。

リアルな防災訓練

VR体験

津波がきた時、
どのような状況に置かれるか



大きな地震が来たときどこが危険か

CHOCO UNIFORM

生徒会が中心としてデザインする

地域とのかかわりを深め

一体感を持つためのユニフォーム



学んだことと感じたこと

- ーから調べてリアルな防災訓練について考えるのは大変だった。しかし、自分たちが考えた防災訓練を実際に出来たらどんな風になるのかを想像し、楽しみながらアイデアを出すことが出来た。